

## 申13号第3回交渉・申14号交渉を開催し、本日妥結！ 会社回答に対する怒りの声が届いています！

申13号「2021年度夏季手当等に関する申し入れ」の第3回交渉において、会社は基準内賃金の2.0ヶ月回答を示しました。生活実感に重きを置いた回答ではないため、申14号「組合員と家族の生活確保とモチベーションの維持・向上を求める2021年度夏季手当等に関する緊急再申し入れ」を行い、6月11日に団体交渉を行いました。JR東労組は生活実感・労働実感・職場現実を突きつけましたが、会社は業績を理由に回答を修正せず、妥結することは出来ませんでした。

本日、全地本代表者会議を行い、「JR東労組のたたかひの理解者が増えた」「21春闘を総括し、『赤字だから仕方がない』という声を転換してきた」等、たたかひの前進が確認された意見や会社の姿勢に対して怒りの意見が出されました。代表者会議の議論を経て、中央執行委員会で議論し妥結する判断に至りました。この間、青年部では情報宣伝活動を通じて青年部員の声を届けてきました。本日発行された中央本部見解を読み合わせし、組織強化・拡大のたたかひをつくり出しましょう！



### 夏季手当回答を受けての青年部員の声①

- ◆コロナ前より行っている業務は増えている中、ペアも減らされて、ボーナスも昨年の夏季よりもさらに0.4ヶ月も減らされてしまうと現実的に厳しい。
- ◆昨年のようなコロナ禍の緊張と不安の中業務をしているため+0.1ヶ月のような回答がないと考えれば、現場社員の職場環境や不安を想った回答とは思えない。
- ◆満額回答は現実的に難しいのかなという思いの一方で、昇給係数を半分にされたのにボーナスも減らされるのか！という不満はある！！
- ◆本部から会社の姿勢について話を聞いた。妥結前に掲示が貼られるのを見て怒りもあつたが2.0という数字に何かまっとうしてしまっている自分もいた。しかし前年より低いと東労組の要求が通っていない。
- ◆会社のやり方では会社の決めた事だから従えという姿勢も感じ、許せないのに更にプラスを引き出すためにも再申し入れは妥当だと思ふ東労組の必要性を感じてもらうためにもこのままではいけないと感じた。

情熱 No.013 2021年06月11日

## 2.0ヶ月の回答に みんなこう思っている！

- コロナで頑張ってきたも赤字だからいろいろカットされたらモチベーションが上がらない！
- 昨年よりも利用者は増えているのに減るのはおかしい！
- 私たちの思いと会社の言っている事が乖離している！
- 2.0は多いように見えるが昇給係数2になったことを考えると満足できる数字じゃない！

第6号 発行日 2021.6.12

## 今の実金で満足した生活出来ますか？

JR東労組本部は6月10日の第三回交渉で夏季手当2.0ヶ月の回答を受けました。しかし、昨年の賃金水準を下回り仲間の利益・生活が守られないことから再申し入れを行いました。6月11日に交渉を行いました。会社と意見が対立し妥結に至っていません。

ここで皆さんに考えていただきたいことは、今回の夏季手当で2.0ヶ月支給されたとしても、そのほとんどが生活費などに使われただけのお金が自由に使えるのでしょうか？そもそも、2.0ヶ月の支給でコロナ前の生活水準を維持できていますか？今年の春闘ではJR東日本がJRグループの中で唯一定期昇給が減っています。その影響は将来にわたって続くでしょう。特に、我々若手は少ない賃金で生活しなければなりません。

今回の再申し入れで0.4ヶ月上げると、10万円近く金額が変わってきます。確かに当社は赤字という状況ですが、列車本数は少なくなったり、仕事量は減っているのでしょうか？一年前に比べ、お客さまは少なくなっているのでしょうか？オリンピック・パラリンピックは観客を入れて行う方向になりつつありますが、そうなるとう都圏の当社線を利用するお客さまは増えるでしょう。その輸送を担うのは私たちです。満足した生活が出来なければ、間違いなく仕事にも影響してくるでしょう。我々に今まで以上に働きがいのある仕事を求めるならば、経営陣も交渉で詰の論点をずらす。真摯に社員の声に向き合うべきです。

一方で、「当初の夏季手当は1.5ヶ月だったのに、会社は2.0ヶ月も出してくれた。」という噂も出ているようです。しかし、そのような噂に騙されてはいけません。東労組が会社との交渉を行い、2.0ヶ月まで上げたのです。組合員はもとより、社員も利益・雇用を守るには東労組しかありません。全員で声をあげていきましょう！

本部交渉団の皆さんお疲れ様でした！  
組合員・社員の声に向き合わない会社の姿勢を許さず、  
悔しさと怒りをバネに組織強化・拡大を実現しよう！

